

日本語で庫裡と呼ばれる部屋は、禅寺の居間で、台所、僧侶の部屋、応接間と客人のための寝室を兼ねている。富裕な封建君主からの依頼を受けた瑞巖寺の庫裡は、切妻やその他の装飾的な彫刻が施された他の 17 世紀の寺院よりも壮大で華やかである。

吹き抜けの空間は火を使って調理する際、煙を逃がせるようになっており、釘を使わずに組まれた構造の柱と梁は露出している。この伝統的な日本の工法は、強度と柔軟性を兼ね備えており、建物が地震の振動を吸収することを可能にした。瑞巖寺の庫裡は 1959 年に国宝に指定された。